

〔放射線科〕

研修の特徴と内容

【特徴】

当科では放射線診断、I V R、放射線治療の各分野に放射線専門医及びI V R学会専門医・放射線腫瘍学会認定医の有資格者が指導医となり個々の指導にあたり、教授が最終的に統括する。

【内容】

① 一般目標（G I O）

各種疾患を有する患者に対して、画像診断（核医学・P E Tを含む）、I V R、あるいは、放射線治療の適応を理解し、放射線科内外の医療スタッフと連携する姿勢を学ぶ。

② 行動目標（S B O）

1. 各種画像診断法の撮像原理を理解する。
2. 各種画像診断の適応を理解する。
3. 核医学・P E T診断の基礎を理解する。
4. 画像解剖を理解する。
5. 造影剤についての基本知識を有し、副作用に対処できる。
6. 読影レポートの基本と役割を理解できる。
7. 頻度の高い疾患について鑑別疾患を挙げられる。
8. 超音波検査、消化管造影を指導下に実施できる。
9. 患者および医療従事者の放射線被曝のリスク低減に配慮できる。
10. 医師、技師、看護師などのコメディカルと連携し、チーム医療できる。
11. 放射線治療の基本的原理を理解できる。
12. 悪性腫瘍に対する放射線治療の適応を理解できる。
13. 悪性腫瘍を有する患者に対する面接の仕方を理解できる。

③ 研修内容（方略）（L S）

1. 放射線業務はすべてスタッフの指導の下に行う。
2. 各種I V Rの適応の判定を術前カンファレンスで行う。
3. 画像診断は消化管造影、腎尿路系造影、C T、M R I、血管造影、核医学・P E T画像の読影を行う。
4. 放射線治療学の基礎として、放射線生物学を履修する。放射線治療計画の概念と治療効果判定のための画像診断の基礎を学ぶ。
5. 三次元放射線治療計画、R A L S、治療用C T、を経験。
6. 外来、入院患者管理（放射線科病棟）

④ 教育に関する行事（方略）（L S）

月	18：00～19：00	医局会・抄読会・症例検討会
	16：30～17：00	放射線治療計画検討会
	16：30～17：00	小児画像診断カンファレンス
	18：00～19：00	腹部画像診断・I V Rカンファレンス
火	18：00～19：00	呼吸器治療カンファレンス
水	18：00～19：00	神経放射線カンファレンス
	17：00～18：00	放射線治療カンファレンス

木 8:15～8:50 病棟回診・症例検討会

金 16:30～17:30 高精度放射線治療計画症例検討会

⑤ 研修評価 (EV)

1. 自己評価

ローテーション終了後、2週間以内にEPOCへ入力する。

2. 指導医による評価

EPOCでの入力による評価を行う。

3. 看護師による評価

病棟師長によりEPOC入力により評価を受ける。

4. 研修医による研修科の評価

研修医がEPOCを用いてプログラムを評価する。

指導医等

主任教授：山門 亨一郎

教授：上紺屋 憲彦

准教授：石藏 礼一

准教授：安藤 久美子

准教授：北島 一宏

講師：山野 理子

助 教：小林 薫

助 教：富士原 将之

助 教：高木 治行

助 教：高田 康弘

助 教：若田 ゆき

助 教：加古 泰一

研修実施責任者

教 授：上紺屋 憲彦